

子どもたちに誇れるしごとを。



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年2月14日

上場取引所 東 名

上場会社名 清水建設株式会社

コード番号 1803 URL <http://www.shimz.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井上 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 山口 充穂

TEL 03-3561-1111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,099,247	△7.8	88,051	31.3	91,393	32.3	67,524	55.3
28年3月期第3四半期	1,191,705	9.4	67,086	119.7	69,076	83.7	43,476	84.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 74,041百万円 (135.9%) 28年3月期第3四半期 31,392百万円 (△50.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	86.07	86.02
28年3月期第3四半期	55.41	55.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,638,422	547,061	33.1
28年3月期	1,722,936	485,655	27.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 542,102百万円 28年3月期 480,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	11.00	16.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年3月期の期末配当11円には特別配当6円が含まれており、平成29年3月期(予想)の期末配当14円には特別配当9円が含まれております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,555,000	△6.6	114,000	20.4	114,000	19.4	84,000	41.6	107.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	788,514,613 株	28年3月期	788,514,613 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	3,943,858 株	28年3月期	3,928,866 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	784,579,160 株	28年3月期3Q	784,605,604 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づき四半期報告書に記載される四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益は高い水準にあるものの改善に足踏みがみられましたが、個人消費などに持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調が続きました。

建設業界においては、製造業の設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられたものの、非製造業からの受注は増加基調が続きました。また、官公庁工事では大型工事が受注の増加に寄与したことから、業界全体の受注高は前年同期をやや上回る水準で推移しました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、完成工事高の減少などから、前年同期に比べ7.8%減少し1兆992億円となりました。このうち、当社グループの建設事業の完成工事高は、前年同期に比べ7.8%減少し1兆22億円となりました。

利益については、完成工事高は減少したものの、完成工事総利益率の改善による完成工事総利益の増加などから、営業利益は前年同期に比べ31.3%増加し880億円、経常利益は32.3%増加し913億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は55.3%増加し675億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ845億円減少し1兆6,384億円となりました。

負債の部は、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ1,459億円減少し1兆913億円となりました。

なお、連結有利子負債の残高は3,629億円となり、前期末に比べ295億円の減少となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ614億円増加し5,470億円となりました。また、自己資本比率は前期末に比べ5.2ポイント増加し33.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や金融・資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

建設業界においては、引き続き労務需給や原材料価格の動向に留意を要するものの、公共投資は高めの水準を維持するうえ、首都圏を中心に不動産投資の動きは依然活発であり、受注環境は底堅く推移するものと考えております。

このような状況のもと、通期の業績予想については、当第3四半期連結累計期間の業績が通期の予想に対し順調に推移しており、当社グループを取り巻く景況感も概ね想定の範囲内であることから、現時点では平成28年11月8日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	189,167	119,530
受取手形・完成工事未収入金等	548,925	427,915
有価証券	85,202	159,150
販売用不動産	21,620	21,184
未成工事支出金	84,518	96,224
開発事業支出金	26,041	38,042
PFI事業等たな卸資産	57,983	53,121
その他	107,911	106,984
貸倒引当金	△976	△774
流動資産合計	1,120,395	1,021,379
固定資産		
有形固定資産	231,382	229,045
無形固定資産	4,274	4,338
投資その他の資産		
投資有価証券	349,447	365,896
その他	19,724	20,068
貸倒引当金	△2,288	△2,306
投資その他の資産合計	366,884	383,658
固定資産合計	602,541	617,043
資産合計	1,722,936	1,638,422
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	441,301	361,377
短期借入金	125,120	121,805
1年内返済予定のノンリコース借入金	9,458	7,187
1年内償還予定の社債	25,000	30,000
1年内償還予定のノンリコース社債	668	16,952
未成工事受入金	102,916	97,082
完成工事補償引当金	3,799	3,454
工事損失引当金	22,950	12,341
役員賞与引当金	176	—
その他	136,184	118,483
流動負債合計	867,576	768,684
固定負債		
社債	65,000	50,000
転換社債型新株予約権付社債	30,136	30,113
ノンリコース社債	16,785	—
長期借入金	76,772	69,321
ノンリコース借入金	43,542	37,556
関連事業損失引当金	5,510	821
退職給付に係る負債	68,150	65,674
その他	63,807	69,189
固定負債合計	369,704	322,676
負債合計	1,237,281	1,091,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	74,365	74,365
資本剰余金	43,155	43,209
利益剰余金	219,507	274,267
自己株式	△1,571	△1,586
株主資本合計	335,457	390,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,849	142,307
繰延ヘッジ損益	15	△42
土地再評価差額金	26,293	26,044
為替換算調整勘定	756	△4,252
退職給付に係る調整累計額	△13,656	△12,210
その他の包括利益累計額合計	145,258	151,846
非支配株主持分	4,939	4,959
純資産合計	485,655	547,061
負債純資産合計	1,722,936	1,638,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高		
完成工事高	1,086,744	1,002,214
開発事業等売上高	104,960	97,033
売上高合計	1,191,705	1,099,247
売上原価		
完成工事原価	981,298	872,684
開発事業等売上原価	91,443	82,917
売上原価合計	1,072,741	955,602
売上総利益		
完成工事総利益	105,446	129,529
開発事業等総利益	13,516	14,115
売上総利益合計	118,963	143,645
販売費及び一般管理費	51,877	55,593
営業利益	67,086	88,051
営業外収益		
受取利息	946	734
受取配当金	4,228	4,431
その他	1,971	1,782
営業外収益合計	7,145	6,948
営業外費用		
支払利息	2,382	2,187
その他	2,773	1,419
営業外費用合計	5,155	3,606
経常利益	69,076	91,393
特別利益		
固定資産売却益	673	1,653
関連事業損失引当金戻入額	—	4,172
特別利益合計	673	5,825
特別損失		
固定資産売却損	221	12
投資有価証券評価損	—	169
特別損失合計	221	181
税金等調整前四半期純利益	69,528	97,038
法人税等	25,919	29,453
四半期純利益	43,608	67,584
非支配株主に帰属する四半期純利益	132	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,476	67,524

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	43,608	67,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,741	10,384
繰延ヘッジ損益	49	△77
為替換算調整勘定	△1,376	△5,382
退職給付に係る調整額	822	1,475
持分法適用会社に対する持分相当額	29	57
その他の包括利益合計	△12,216	6,456
四半期包括利益	31,392	74,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,500	74,362
非支配株主に係る四半期包括利益	△107	△321

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	972,110	24,029	195,565	1,191,705	—	1,191,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,665	188	127,973	143,827	△143,827	—
計	987,775	24,218	323,538	1,335,532	△143,827	1,191,705
セグメント利益(注1)	52,035	3,930	11,768	67,733	△647	67,086

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業や子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額△647百万円は、セグメント間取引消去等です。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	886,883	14,411	197,952	1,099,247	—	1,099,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,871	202	116,345	126,418	△126,418	—
計	896,754	14,613	314,297	1,225,666	△126,418	1,099,247
セグメント利益(注1)	68,717	4,979	11,821	85,518	2,533	88,051

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業や子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額2,533百万円は、セグメント間取引消去等です。

以 上